

V し尿処理

1 し尿処理の概要

(1) 概要

本市の下水道の普及状況は、昭和42年でわずか17.8%であり、建設費についてもほとんど一般財源に依存していましたが、昭和45年4月から受益者負担金制度の実施にともない国の補助金や起債が大幅に増えたため、普及率は急激に上昇し、昭和45年1月には第1処理区、昭和49年3月には第2処理区が処理開始となり第3処理区については昭和62年4月より処理開始となりました。これにより全市域100%が供用を行っています。汚水管渠整備率では昭和55年度末で100%となりました。

公共下水道処理面積、推定処理人口及び普及率

年度	住民基本台帳人口(A)	排水面積(B) : ha	処理面積(C) : ha	推定処理人口(D)	水洗化人口(E)	面積(C/B)	処理対象(D/A)	水洗化人口(E/A)
平成30	146,128	1,073	1,073	146,128	146,122	100.0%	100.0%	99.9%
令和元	146,847	1,073	1,073	146,847	146,841	100.0%	100.0%	99.9%
令和2	147,677	1,073	1,073	147,677	147,672	100.0%	100.0%	99.9%
令和3	148,235	1,073	1,073	148,235	148,230	100.0%	100.0%	99.9%
令和4	148,260	1,073	1,073	148,260	148,255	100.0%	100.0%	99.9%

*住民基本台帳人口は10月1日現在の数字。

*水洗化人口には、し尿槽人口を含む。

(2) し尿収集のしくみ

収集の形態は、当初より直営及び業者への委託により処理していました。まず中継所構内のし尿中継槽に集められ、その後大型バキューム車(6,200ℓ)に積み換えて約17km先の湖南衛生組合処理場に搬送して処理していましたが、昭和58年9月からは中継槽を廃止し、組合まで直送しています。

収集は、月2回汲取りし、作業は毎日直営1台、委託1台により全市を直営8地区、委託13地区に分けて1日1地区の割合で収集していました。汲取り収集量は、昭和38年6月の湖南衛生組合処理場稼動後は昭和41年度の収集量50,203.8kℓを最高に減少し続けています。昭和62年度に公共下水道の普及率が100%になったことにともない、昭和63年6月1日より市の直営を廃止し、委託10地区、収集回数を月2回とし、委託1台としました。

し尿処理手数料については、東京都の無料化にともない、本市も昭和54年4月より一般家庭のし尿汲取り手数料を廃止しました。しかしながら、全市域で下水道供用開始後10年を経過した平成9年4月より再び有料化を実施しました。

なお、令和4年度仮設トイレのし尿汲取りは、年間459件の申請にもとづき532仮設便槽の収集を実施しました。

2 し尿槽の清掃

し尿槽の清掃は、民間の業者に許可を与えて処理し残渣物は100倍に希釈し、構内下水放流装置により処理していましたが、昭和52年8月中止し、中継所内のし尿槽に溜め、大型バキューム車で、し尿と同じ湖南衛生組合のし尿処理場へ搬入していましたが、

しかし、昭和58年9月には中継槽を廃止し、組合まで直送しています。

3 し尿処理量の推移

し尿処理

年度	総人口	下水道人口	浄化槽人口	し尿人口	し尿収集量(kℓ)	直営(kℓ)	委託(kℓ)	し尿槽清掃(kℓ)
平成 25	140,598	140,589	-	9	121	-	121	60
平成 26	142,108	142,108	-	9	91	-	91	65
平成 27	143,251	143,251	-	9	80	-	80	72
平成 28	143,864	143,864	-	9	74	-	74	83
平成 29	145,016	145,008	-	8	91	-	91	112
平成 30	146,128	146,122	-	6	81	-	81	167
令和元	146,847	146,841	-	6	84	-	84	169
令和 2	147,677	147,672	-	5	73	-	73	130
令和 3	148,235	148,230	-	5	68	-	68	104
令和 4	148,260	148,255	-	5	101	-	101	113

*総人口は10月1日現在の数字。

*し尿収集量には、仮設便所汲取量を含む。

4 し尿処理施設

し尿処理施設の概要(令和5年4月1日現在)

設立年月日	昭和36年6月1日
名称	湖南衛生組合
所在地	東京都武蔵村山市大南5丁目1番地 電話 042-561-1551
構成団体	立川市、武蔵野市、小金井市、小平市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市 ・当初「武蔵野・小金井・村山地区衛生組合」として設立許可。 ・昭和40年5月1日「湖南衛生組合」と名称変更と共に小平市及び大和町(現東大和市)が加入。 ・令和5年4月1日に立川市と国分寺市が加入。
組織	組合議会議員14名(令和5年4月1日より) 管理者1名、副管理者6名、監査委員2名、会計管理者1名 一般職員3名
処理能力	7.0kℓ/日 前処理希釈放流方式 ※平成28年4月、新処理施設稼働開始。 令和5年4月、立川市と国分寺市の加入に伴い、処理能力変更。